 <h1 style="margin: 0;">JWRC</h1> <h2 style="margin: 0;">水道ホットニュース</h2>	<p>(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail <a href="mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp">jwrchot@jwrc-net.or.jp</a> URL <a href="http://www.jwrc-net.or.jp">http://www.jwrc-net.or.jp</a></p>
--	---

## 新設拡張・改良事業費等の推移（その1）

### －水道統計に基づく試算結果－

#### （はじめに）

平成22年2月2日に開催された第8回厚生科学審議会生活環境水道部会の「資料5 水道行政の最近の動向について」によれば、「現有施設の更新需要は年間約5,500億円（平成17年度末）と推計されるが、平成30年代にはさらに約1.5倍になると推計」などとされています。

一方、水道統計では、「新設拡張」と「改良」の別で、事業費が毎年度集計されています。

そこで、水道統計をもとに「改良事業費」等の最近の推移を試算し、今後の「更新需要（除却額）」の見通しとの関係について若干の分析を行ったので、その概要を紹介します。

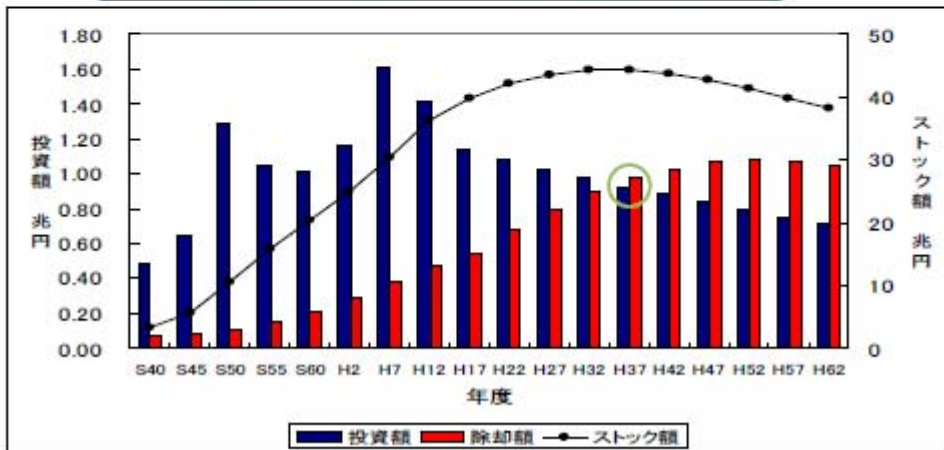
（参考）第8回厚生科学審議会生活環境水道部会「資料5 水道行政の最近の動向について」（抜粋）

## 水道施設の更新②

更新に必要な財源を確保していくことが、今後の重要な課題。

- 現有施設の更新需要は年間約**5,500億円**（平成17年度末）と推計されるが、平成30年代にはさらに約1.5倍になると推計。
- 水道施設への投資額が対前年度比マイナス1%で推移すると仮定した場合、平成32～37年頃以降は、**更新需要が投資額を上回る**ものと試算。

建設改良に対する投資額と更新需要(除却額)の推移  
～投資額が対前年度比マイナス1%で推移したケース～



（注）除却額  
過去に投資した金額を、施設が法定耐用年数に達した時点で控除（除却）した額。ここでは耐用年数に達した施設を同等の機能で再構築する場合の更新費用の推計額として用いている。  
なお、実際の施設更新の場合は、施設の機能が向上（耐震性強化等）することにより更新費用は除却額を上回る傾向がある。

（出典） <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/02/d1/s0202-8g.pdf>

# 1. 新設拡張・改良事業費等の推移（平成元～19年度）

図1-1及び図1-2は、平成元～19年度の20年間における「新設拡張・改良事業費の推移」を示したものである。

事業別にみると、事業費のピークは、

- \* 上水道事業・新設拡張：平成10年度
  - \* 上水道事業・改良：平成8年度
  - \* 用水供給事業・新設拡張：平成10年度
  - \* 用水供給事業・改良：横這い傾向
- となっている。

図1-3は、「新設拡張（上水道事業+用水供給事業）」と「改良（上水道事業+用水供給事業）」の別に、平成元～19年度の20年間における事業費の推移をグラフで示したものである。特に「改良（上水道事業+用水供給事業）」事業費は、平成8年度をピークに減少傾向にあり、平成18・19年度の改良事業費は「6,000億円」を下回る状況にある。

一方、第8回厚生科学審議会生活環境水道部会の「資料5 水道行政の最近の動向について」によれば、「現有施設の更新需要は年間約5,500億円（平成17年度末）と推計されるが、平成30年代にはさらに約1.5倍になると推計」している。また、「除却額」については、「過去に投資した金額を、施設が法定耐用年数に達した時点で控除（除却）した額。ここでは耐用年数に達した施設を同等の機能で再構築する場合の更新費用の推計額として用いている。なお、実際の施設更新の場合は、施設の機能が向上（耐震性強化等）することにより更新費用は除却額を上回る傾向がある。」としており、早々に「改良」のための投資額が増加傾向に転じなければ、「平成32～37年頃」を待たず、近いうちに「投資額」が「除却額」を下回り、必要な施設更新や耐震化に対する十分な取組みが困難となるものと予想される。

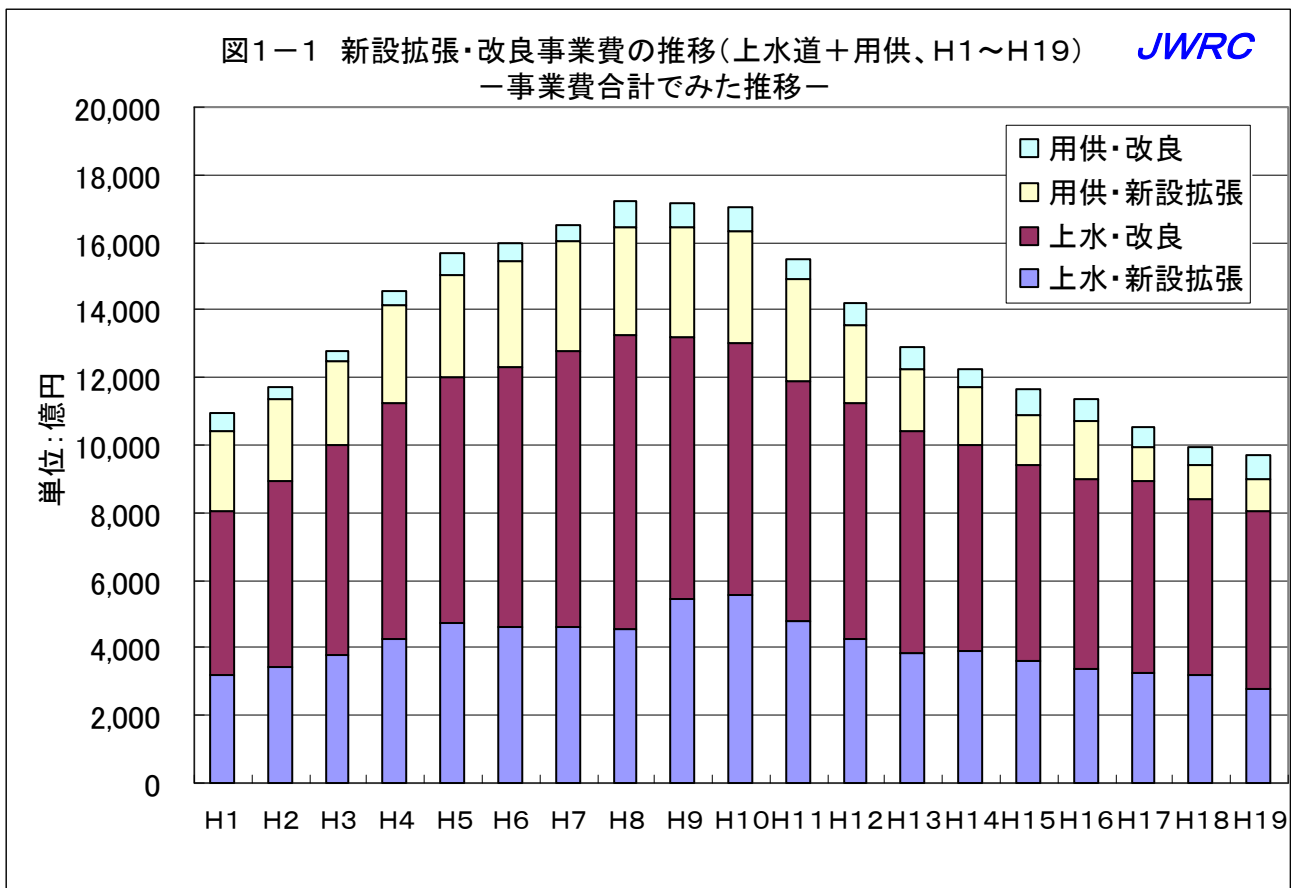


図1-2 新設拡張・改良事業費の推移(上水道+用供、H1~H19)  
 -事業別でみた推移-

JWRC

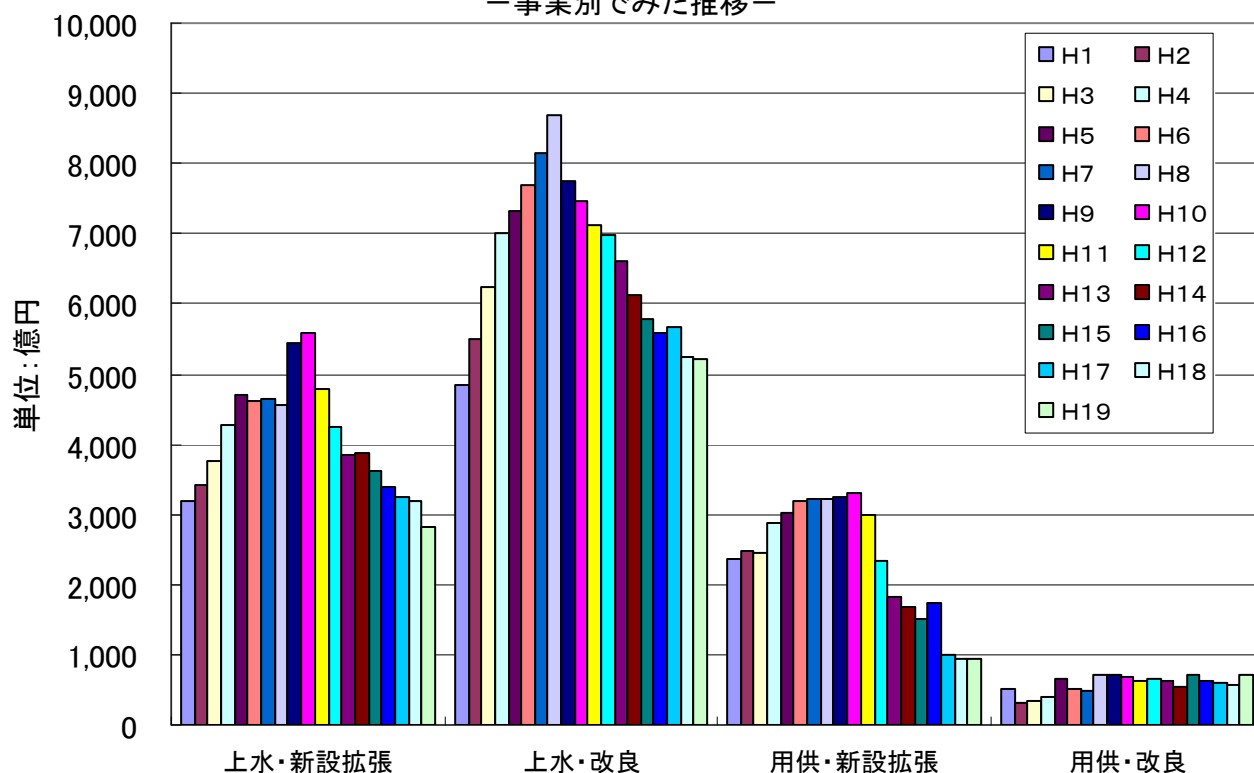
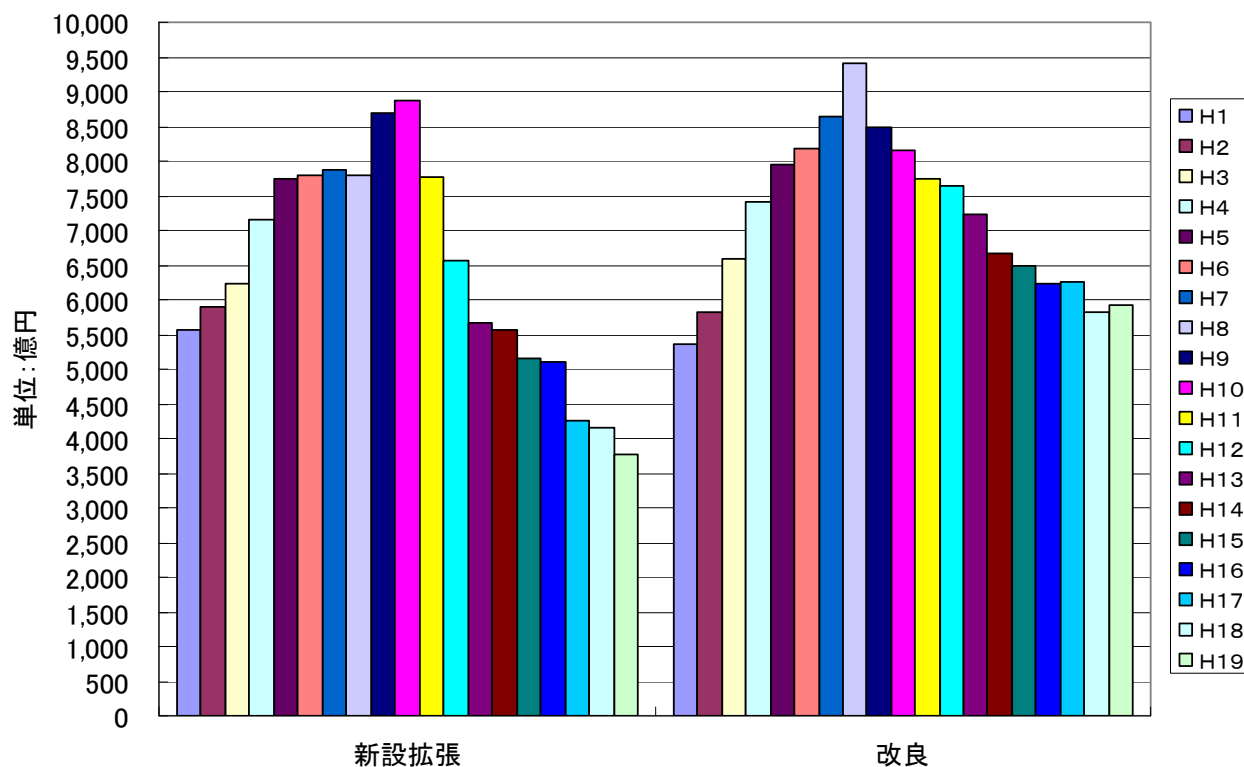


図1-3 「新設拡張」及び「改良」の別にみた事業費の推移(上水+用供)

JWRC



[表1] 新設拡張・改良事業費の推移（平成元～19年度）

（単位：億円）

	上水道事業			水道用水供給事業			合計		
	新設拡張	改良	計	新設拡張	改良	計	新設拡張	改良	計
H1	3,199	4,837	8,036	2,375	510	2,885	5,574	5,347	10,921
H2	3,417	5,495	8,912	2,469	315	2,784	5,886	5,810	11,696
H3	3,760	6,238	9,998	2,458	347	2,805	6,218	6,585	12,803
H4	4,265	7,002	11,267	2,877	412	3,289	7,142	7,414	14,556
H5	4,713	7,314	12,027	3,028	643	3,671	7,741	7,957	15,698
H6	4,604	7,688	12,292	3,180	499	3,679	7,784	8,187	15,971
H7	4,638	8,146	12,784	3,225	498	3,723	7,863	8,644	16,507
H8	4,560	8,686	13,246	3,224	723	3,947	7,784	9,409	17,193
H9	5,452	7,760	13,212	3,253	716	3,969	8,705	8,476	17,181
H10	5,571	7,456	13,027	3,307	691	3,998	8,878	8,147	17,025
H11	4,797	7,126	11,923	2,984	621	3,605	7,781	7,747	15,528
H12	4,254	6,968	11,222	2,322	667	2,989	6,576	7,635	14,211
H13	3,833	6,600	10,433	1,830	634	2,464	5,663	7,234	12,897
H14	3,877	6,117	9,994	1,695	553	2,248	5,572	6,670	12,242
H15	3,625	5,774	9,399	1,518	720	2,238	5,143	6,494	11,637
H16	3,381	5,594	8,975	1,734	628	2,362	5,115	6,222	11,337
H17	3,248	5,673	8,921	1,009	590	1,599	4,257	6,263	10,520
H18	3,199	5,229	8,428	954	580	1,534	4,153	5,809	9,962
H19	2,808	5,218	8,026	951	705	1,656	3,759	5,923	9,682

（注）平成17年度：福岡県筑前町の新設拡張事業費 91,952,791千円→91,953千円として試算。

## 2. 用途別にみた事業費の推移（平成元～19年度）

図2-1及び図2-2は、用途別にみた事業費の推移をグラフで示したものであり、図2-3に示すように、平成19年度においては「請負支出額」が全事業費の78%を占めている。

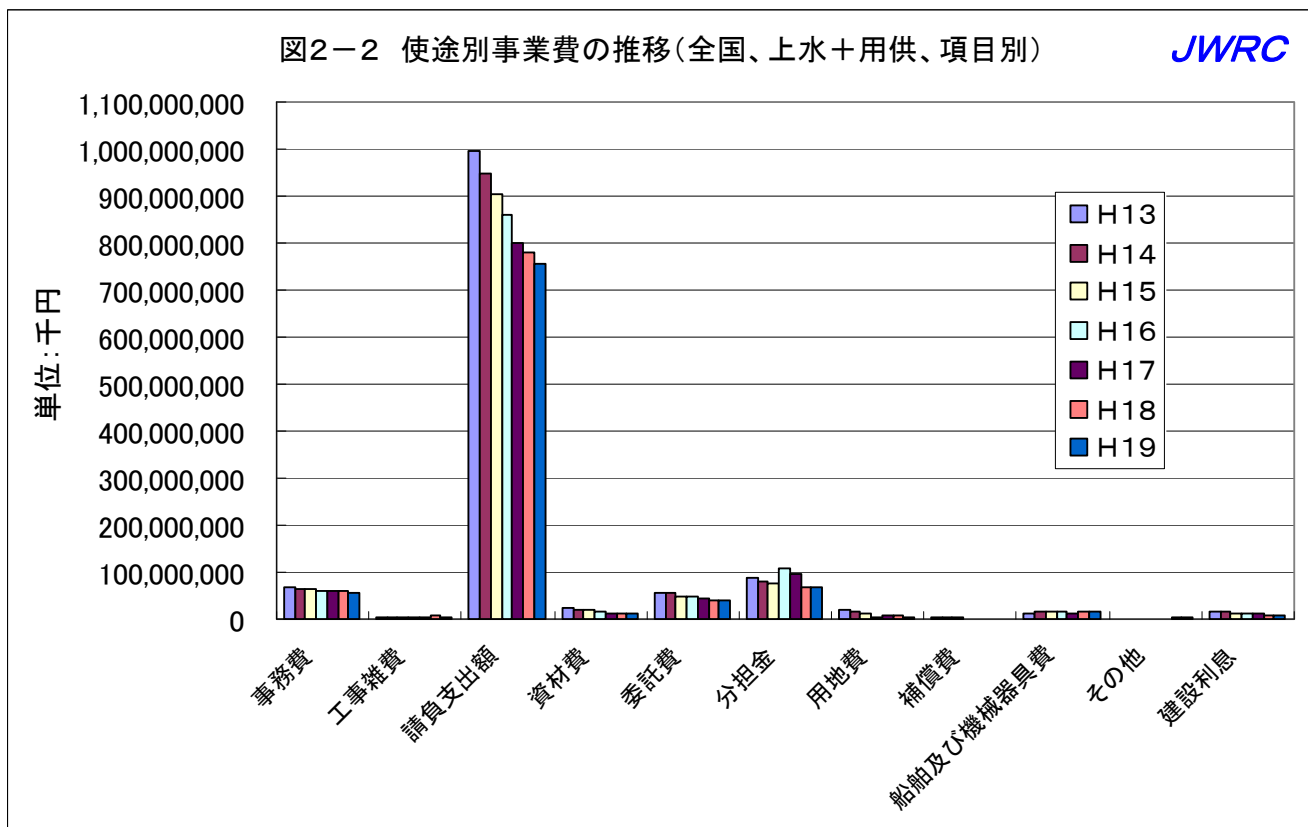
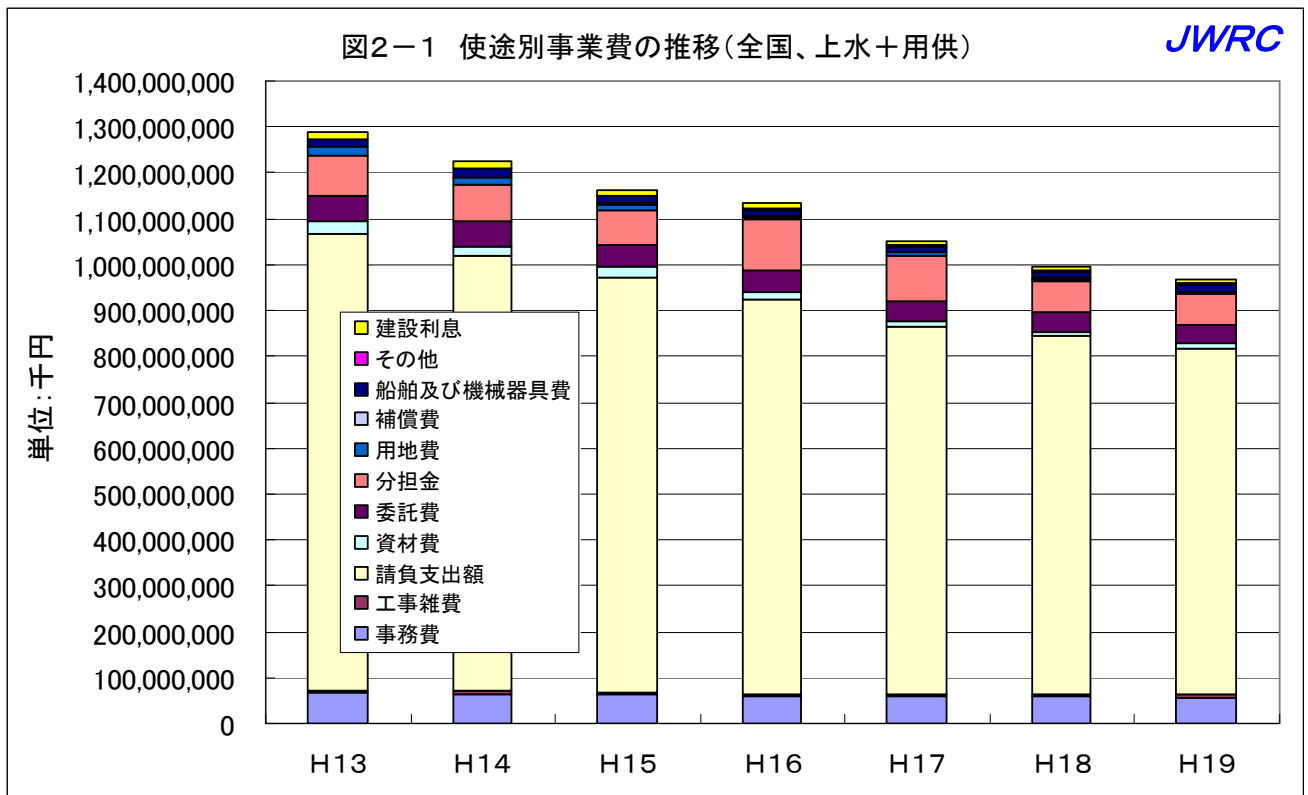
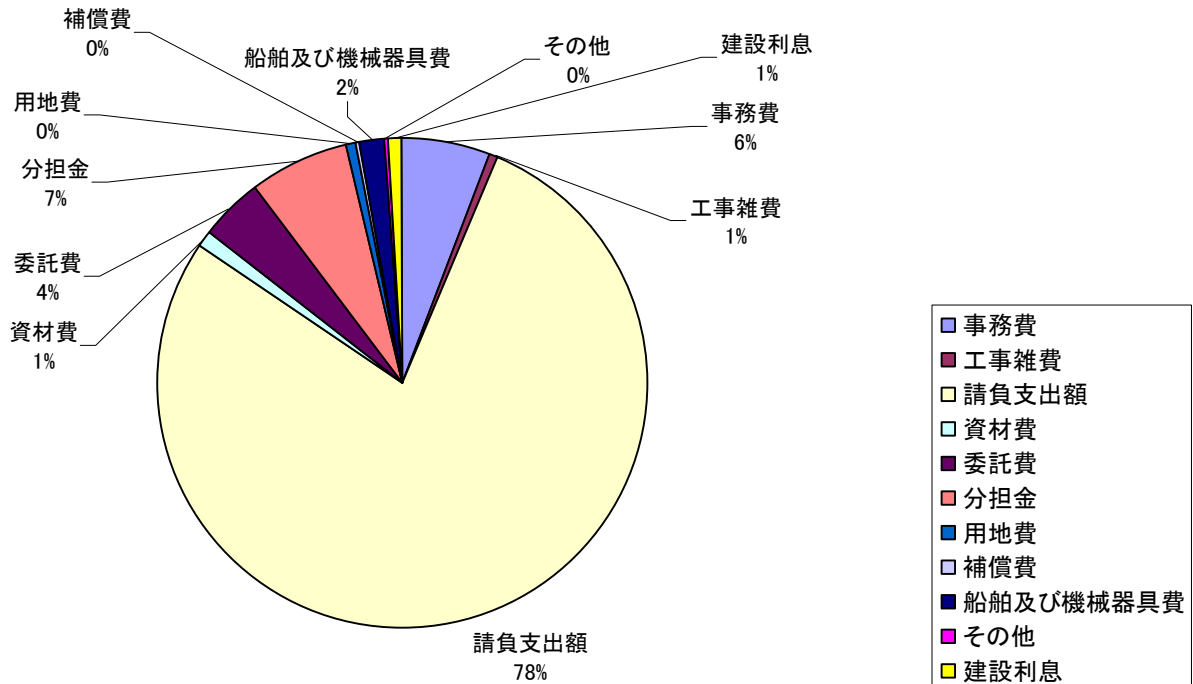


図2-3 平成19年度における用途別事業費の構成(上水+用供)

JWRC



[表2] 用途別にみた事業費の推移 (平成元~19年度)

(単位: 千円)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
事務費	66,194,990	64,766,077	62,795,275	59,876,598	59,326,582	58,081,021	57,473,225
工事雑費	5,140,581	5,518,725	5,227,957	5,339,763	4,564,207	6,186,418	5,547,348
請負支出額	996,755,859	948,356,442	905,142,939	859,475,586	801,080,222	778,647,177	754,379,535
資材費	25,072,321	20,132,172	20,729,988	15,390,299	11,171,080	11,013,932	11,741,306
委託費	57,204,049	54,164,791	49,643,210	47,874,857	43,935,689	40,445,338	38,960,093
分担金	87,049,413	81,715,599	74,247,691	109,843,370	97,336,215	67,582,839	66,419,991
用地費	19,153,536	14,150,752	13,154,889	5,505,330	8,023,409	7,587,637	4,653,716
補償費	2,066,127	2,248,940	2,808,227	1,728,742	1,698,801	1,020,910	799,418
船舶及び機械器具費	13,531,782	17,403,037	16,336,155	14,555,652	13,069,399	14,184,327	16,131,912
その他	0	0	0	1,181,788	1,679,519	2,227,155	3,695,147
建設利息	17,555,560	15,780,383	13,891,255	12,957,071	10,107,300	9,259,558	8,406,401
合計	1,289,724,218	1,224,236,918	1,163,977,586	1,133,729,056	1,051,992,423	996,236,312	968,208,092

(文責) センター常務理事兼技監

安藤 茂

### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h21.html>